

ナンバリング	授業科目名 (科目の英文名)	区分
M212R201	母性看護学概論 (Introduction to Maternal Nursing)	専門教育科目 母性看護学

必修選択	単位	対象年次	学期	曜・限	担当教員
必修	1	2	前期	月・2	猪俣 理恵・小柳 麻央 内線：5072 E-mail：rie-inomata@

【授業の概要・到達目標】

母性看護の変遷を、歴史、社会、文化、環境の視点から学び、母性看護およびリプロダクティブヘルスの中心概念を理解することにより、生と性に関わる看護の基礎を育成する。

具体的な到達目標	看護学科ディプロマポリシーとの対応						
	1	2	3	4	5	6	7
1. 母性看護の歴史的な変遷を母子保健の動向も踏まえ、多角的な視点から説明できる。				○	○		
2. 母性看護のおよびリプロダクティブヘルスの中心概念について説明できる。				○		○	
3. 母性看護の役割、法的責任、倫理およびその課題について説明できる。					○	○	

【授業の内容】

1	母性看護の基盤となる概念
2・3	リプロダクティブヘルスに関する概念
4	リプロダクティブヘルスに関する動向
5・6	リプロダクティブヘルスに関する法・施策および支援
7	女性のライフサイクルと健康支援
8	生と性にまつわる近年の動向と課題 (チームディベート)

【アクティブラーニングの内容・その他の工夫】

A：知識の定着・確認	○	小テスト、教員からのフィードバック	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 視聴覚教材を用い、講義内容を具体的にイメージできるよう取り組む。 ◆ 母性看護に関連した課題について考え、積極的に意見を交えることができる機会を設ける。
B：意見の表現・交換	○	アクションシート チーム演習、チームディベート	
C：応用志向	○	チーム演習、チームディベート	
D：知識の活用・創造	○	チーム演習、チームディベート	

【時間外学修の内容と時間の目安】

準備学修	教科書および講義で紹介する参考文献を用いて、次回の学習内容について予習する (8h)。 チームディベートに向けた準備をする (8h)。
事後学修	教科書・小テストを用いて、講義で学んだ内容を復習する (8h)。 講義で得た知見を、自分なりの思考過程を経て既存の知識と統合し、アクションレポートにまとめる (8h)。

【教科書】

中込さと子 他 【編】(2022)：ナシググラフィ 母性看護学① 母性看護学概論・リプロダクティブヘルスと看護 メディカ出版
 苛原稔 他 【編】(2020)：ナシググラフィ EX 疾患と看護⑨ 女性生殖器 メディカ出版
 医療情報科学研究所 【編】(2018)：病気がみえる vol.9 産科、第4版、メディックメディア

【参考書】

国民衛生の動向 (2023/2024) 厚生労働統計協会
 母子保健の主なる統計 (2024) 母子保健事業団
 わが国の母子保健 (2024) 財団法人 母子衛生研究会

【成績評価方法及び評価の割合】

評価方法	割合	目標 1	目標 2	目標 3
期末試験	80%	○	○	○
小テスト、アクションレポート	10%	○	○	○
チーム演習、ピア評価	10%	○	○	○

【注意事項】 講義日程を確認すること。講義後のアクションレポートの提出をもって出席状況を確認する。

【備考】

担当教員の実務経験の有無	有	
教員の実務経験	猪俣理恵（看護師・助産師）、小柳麻央（看護師・助産師）	
教員以外で指導に関わる実務経験者の有無	無	
教員以外の指導に関わる実務経験者		
実務経験をいかした教育内容	母性看護学領域において、エビデンスに基づいた質の高い看護実践を行うために、理論や評価尺度の活用などの基盤となる構成概念を講義する。	
授業形態	面接授業	